

市制施行20周年記念誌  
甲州市 市勢要覧2025  
～未来につなぐ 実りのまち～



# KOSHU CITY

SINCE 2005



## CONTENTS

Top Message

- 3 未来へつなぐ甲州、  
みのり豊かな笑顔のまちへ。

塩山高校の学生が取材・レポートする

- 7 甲州市まちづくりプラン

INTERVIEW

- 14 Koshu City, Our Pride

誇り高き甲州市

甲州市フルーツ娘が行く

- 19 甲州魅力旅

甲州市ガールズトーク

- 27 Dream chaser

- 31 甲州市20年の歩み

- 37 市議会

- 38 資料編

## 未来につなぐ実りのまち

山梨県甲州市は、日本有数の果樹産地で

「フルーツ王国」として知られ、

日本ワイン発祥の地でもあります。

恵林寺や大善寺など歴史的建造物も多く、

豊かな自然に囲まれています。

都心からのアクセスも良好で、子育て支援も充実。

世界農業遺産や日本遺産にも認定された、

歴史・文化・自然・農業が調和した魅力的な地域です。



# KOSHU CITY

SINCE 2005



## 未来へつなぐ甲州、 実り豊かな 笑顔のまちへ。

甲州市長  
鈴木 幹夫



### 20年の軌跡、次代への架け橋

この度、市制施行20周年を迎えられたことについて、市民の皆さまに心から感謝を申し上げます。2005年に誕生した本市は、豊かな自然や歴史、果樹やワインといった地域資源に支えられて歩んできました。

この20年を振り返ると、本市が抱えている課題の一つひとつに真摯に向き合い、取り組んできたときであったと感じています。総合計画や各種計画に基づき、市民生活の向上と地域産業の振興を柱として歩んできた道のりは、今ようやく成果として形になりつつあります。節目を迎える本年を機に、さらに次の未来に挑戦していく覚悟です。

### 地域の記憶、再生の誇り

市長就任後、最初に取り組んだことの一つは、大日影トンネルの再生でした。かつて甲州のぶどうを貨物列車で運ぶために使われ、国鉄から払い下げられたこのトンネルは、老朽化のため長く閉鎖されてきました。地域の歴史を物語る大切な遺産であり、市内外からも「通れるようにしてほしい」との声が強く寄せられていました。

そこで安全確保等の改修を進め、

1期目の任期中に遊歩道として完成させました。現在は観光資源として活用され、訪れる人々に地域の歴史・文化を伝えていきます。

### 未来を支える給食費無償化

市政で特に重視してきたのが子どもたちの教育環境です。その一つとして、学校給食費の無償化に踏み切りました。国の補助制度が始まる前の令和3年度から独自に取り組んでおりますが、これは子育て世帯の負担を和らげ、安心して子どもを育てられる環境づくりには欠かせない投資であると考えています。

給食とは栄養の確保であるとともに健やかな成長を支える教育の一部です。アレルギーや個別対応にも配慮し、学校と連携しながら、全ての子どもに平等に届ける必要があります。市としては、今後も積極的に支援を進めていきます。

### 学びを拓く教育の新基盤

時代の流れに対応するため、子どもたち一人ひとりにパソコン端末を無償貸与しました。いわゆるGIGAスクール構想に基づく取り組みで、甲州市は山梨県内でも先駆けて導入した自治体の一つです。ICT学習は理解度や興味に応



じて柔軟に学びを深め、学力だけでなく探究心や表現力を育むきっかけになります。子どもたちが世界中のどここの情報にもアクセスできる環境を整えることが、将来の可能性を広げることにつながるものと信じています。

交流の拠点となる芝生公園

環境センター跡地は、令和8年度に芝生公園として整備が完了します。そこは健康器具やドッグラン施設を備えた、子どもから高齢者まで安心して集える空間です。スポーツや散歩、休憩まで幅広く、多世代が同じ場で過ごせる場所となります。市民が日常的に利用できる環境は、健康づくりや交流の拠点にもなることを期待しています。

持続可能な財源づくりを

持続可能な市政を進めるには、安定した財源が欠かせません。就任当初、ふるさと納税の寄付額は7億7000万円程でしたが、今では42億円を超える規模に成長しました。担当職員の努力により、地域の特産品や観光資源を効果的にPRするなど、多くの方が市を知っていただけた成果です。

しかし国の制度見直しも予想され

ます。そこで「まちづくり公社」を設立し、自前の財源を確保する仕組みをつくりたいと考えています。安定した運営を続けるために必要な一歩であり、市の未来を見据えた取り組みを進めることが市長が果たすべき使命です。

学校統合と未来への模索

市内には小学校が13校あり、児童数に比して学校の数が多いのが現状です。財政面から見ても、学校が多ければ多いほど維持に費用がかかるのは事実ですが、何よりも子どもたちにとって最善の環境を整えることが必要です。統合となると「母校がなくなるのは寂しい」という思いも根強く、慎重に協議を進める必要があります。地域の思いと子どもたちの未来、その両方を大切にしながらこれからの在り方を探っていきたく思います。

世界へ広がる甲州ブランド

甲州市の主要産業である農業現場の高齢化や後継者不足に対し、JIAと連携した「アグリトレーニー制度」で新たな担い手呼び込み、任期3年間の生活支援と経営定着を後押ししています。

ワイン産業では、海外関係者の受

け入れや現地での発信を強化し、輸出や販路拡大への動きを進めているところですが、観光分野においては、代表的な「ぶどうまつり」は世代を越えて受け継がれ、市民に誇りを与える行事です。また、2028年にはマリオット・インターナショナルのホテルが開業予定で、国際発信力を高める絶好の機会と期待を寄せています。

互いに支え合う仕組み作り

高齢化率は全国的にも高く、今後ますます医療や介護の需要が増えるが見込まれます。そこで目指すのは、単なる寿命の延伸ではなく、健康に暮らせる「健康寿命」の拡大です。具体例としては、高齢者が安心して集まれる「通いの場」の整備を進め、交流を通じて心身を保てる環境を支援しています。

また、後期高齢者人間ドック費用の助成や見守り体制を整え、在宅介護を続けやすくする仕組みも進めています。さらに、医療と介護を連携させた認知症カフェや介護予防事業を展開し、障害のある方や生活に困難を抱える方への支援も広がっています。

防災や環境の分野でも取り組みを進めています。災害対応では小型トイレカーを導入するなど、避難所の衛生環境に配慮した取り組みを進めています。また、環境面では「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、施策を進めています。

本市のさらなる発展のため、市民の皆さんと力を合わせ、未来へ歩んでいきたい。それが私の願いであり、甲州市の進む姿であると信じています。

# 創意に満ちた活力ある産業のまちづくり



1.たわわに実る甲州市のブドウ 2.毎年多くの人で賑わう新酒ワインまつり  
3.恵林寺にある武田信玄の墓所 4.空き店舗を活用したチャレンジショップ

地元で働きたい、  
そう思えるまちに!

## Report

### 豊かな自然や地域資源を最大限に活用し、 地域産業の活性化を進める活力あるまちへ

果物やワインで知られる甲州市ですが、農業や観光、商業をめぐる課題は多くあります。農業やワイン産業の担い手不足や高齢化、観光は秋に集中し、商店街の空洞化など、全国でもよく耳にする声です。就職先が限られるため、若い人が市外へ出てしまう状況も深刻で地域に根ざす産業をどうつなぎ、どう広げていくのか。これは未来を担う私たちにとっても切実なテーマです。

そこで市は、農業分野で新規就農者の支援や農地の有効活用を進めています。果物をブランド化し、GI認証や輸出拡大を視野に全国へ発信。ワインも世界に誇れる資源として、農業者・醸造所・観光事業者が一体となり、安定供給と販路拡大の仕組みを整えています。農業機械の導入支援や果樹園の再整備といった生産基盤の強化も進められています。

観光ではフルーツ狩りやワインツーリズムなどに加え、武田家ゆかりの史跡や寺社を資源化し、年間を通じて楽しめる環境を整備。SNSやイベントを強化しながら、滞在型観光を意識し、宿泊施設との連携や市内回遊を促す施策も導入しています。商工業では空き店舗を活用したチャレンジショップや創業支援、ECサイト導入などデジタル化も進めています。また企業と求職者を結ぶ合同説明会や、子育て世代向けの働き方支援も行っています。

やがて観光客は季節を問わず訪れ、フルーツやワインは全国、そして世界へと広がる。商店街には新しいお店が並び、人々の交流が戻る。そして何より、若い世代が「ここで働きたい」と感じられるまちになる。こうしたまちを目指す営みが、地域の創意と暮らしの活力を生み出し、まちづくりを進めていきます。

塩山高校の学生が取材・レポートする

# 甲州市まちづくりプラン

豊かな自然 歴史と文化に彩られた 果樹園交流のまち甲州市



# 快適で安心して暮らせるまちづくり



1.空き家セミナー&相談会の様子 2.市民の生活を支えるデマンドバス  
3.訓練を行う消防団 4.夜道を明るく照らすLED防犯灯

## Report

### 災害や犯罪、事故に対して不安のない、快適で安心な暮らしを支える基盤の整ったまちへ

安心で快適な暮らしという視点で市内の現状を見ると、空き家の増加や道路の整備不足といった「日常の小さな不便」はゼロではありません。そうした課題に向き合うために、市は防災や交通、住宅や景観、そしてデジタル化まで幅広く手を打ち、市民が心地よく暮らせる環境づくりを進めています。

昨今浮き彫りになっている課題としては、空き家や遊休農地の増加、公園や住宅の老朽化、道路や公共交通の整備不足。加えて豪雨や地震といった自然災害への備えなど。特殊詐欺の防止も欠かせません。空き家率は全国水準を上回り、高齢者だけが住む世帯も増えてきています。これらを見直していくことこそが、私たちの「当たり前の日常」を支えていくこと。

この目標を達成するために、市は果樹農業システムを守るとも

に、空き家バンクを活用して移住や定住を促進。公営住宅は長寿命化計画に基づいて改修を進めています。道路や橋は補強や耐震化を進め、デマンドバスや市民バスで交通弱者を支援。行政手続きはオンライン化を拡大し、マイナンバーカード活用も進めています。防災では消防団や自主防災組織を強化し、AEDや備蓄の整備も推進。夜道を照らすLED防犯灯、地域と警察の連携、消費生活相談窓口の整備も暮らしを守る基盤となっています。

決して革新的で派手な動きではありませんが、日常を底から支える取り組みです。整った道路を歩ける安心感、手続きが簡単に済む便利さ、災害時に備えられる安心、そして四季折々の景観を守る誇り。そうした積み重ねによって暮らしは安定し、市民が「このまちで暮らし続けたい」と思える環境が育まれていきます。



# 健やかに心ふれあう健康・福祉のまちづくり



1.乳幼児健診の様子 2.令和4年にリニューアルした勝沼健康福祉センター  
3.健康診断の様子 4.介護予防を目的としたいきいき健康教室

## Report

### 市民が世代を超えて支え合いながら、生涯にわたって健康にいきいきと暮らせる健やかなまちへ

「健康」や「福祉」という言葉は、日常生活に直結しています。たとえば子どもを安心して育てられること、病気のときに治療を受けられること、高齢者や障害のある人が自分らしく暮らせること。これらはどれも私たちの日常に欠かせないもの。そうした何気ない幸せや安心感を守るための仕組みづくりがこの目標です。

現在の課題としては、少子高齢化に伴う子育て世帯の孤立、ヤングケアラーの増加、医療や介護需要の拡大、さらに生活困窮や社会的孤立など、暮らしを揺るがす要因は広がっています。高齢化率は3割を超え、医療と介護を両立する「地域包括ケア」の実現が求められています。

現在甲州市では、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を整え、母子保健や保育サービスを充実。乳幼児健診や子育て

世代包括支援センターも整備されています。健康診断やがん検診の普及、運動習慣の推進で生活習慣病を予防し、市民が健康を維持できる環境を広げています。医療では訪問診療体制の整備や休日救急医療の充実を図り、介護分野では認知症カフェやサロンを展開し、予防事業を拡充。さらに地域包括支援センターを中心に高齢者の相談や見守りを行い、在宅介護を続けやすくする取り組みも進んでいます。障害のある人への就労支援、生活支援、生活困窮者への相談窓口も強化し、国民健康保険や医療費助成といった制度基盤も固められています。

その結果、地域でのびのび育つ子ども、住み慣れたまちで安心して暮らす高齢者、自分らしく社会に関わる障害のある人。誰もが支え合い、助け合う関係が自然に生まれ息づくまちです。



# 心豊かな人を育む教育・文化のまちづくり



1.ゲームをしながら英語を学ぶ授業 2.大規模改修を行った塩山中学校  
3.赤ちゃんから大人まで誰もが楽しめる勝沼図書館 4.日本ワインの歴史が学べる宮光園

ICT教育の導入は  
県内でも先駆的!

## Report ともに学び、次代を担う 人づくりに取り組み、地域の文化を創造するまちへ

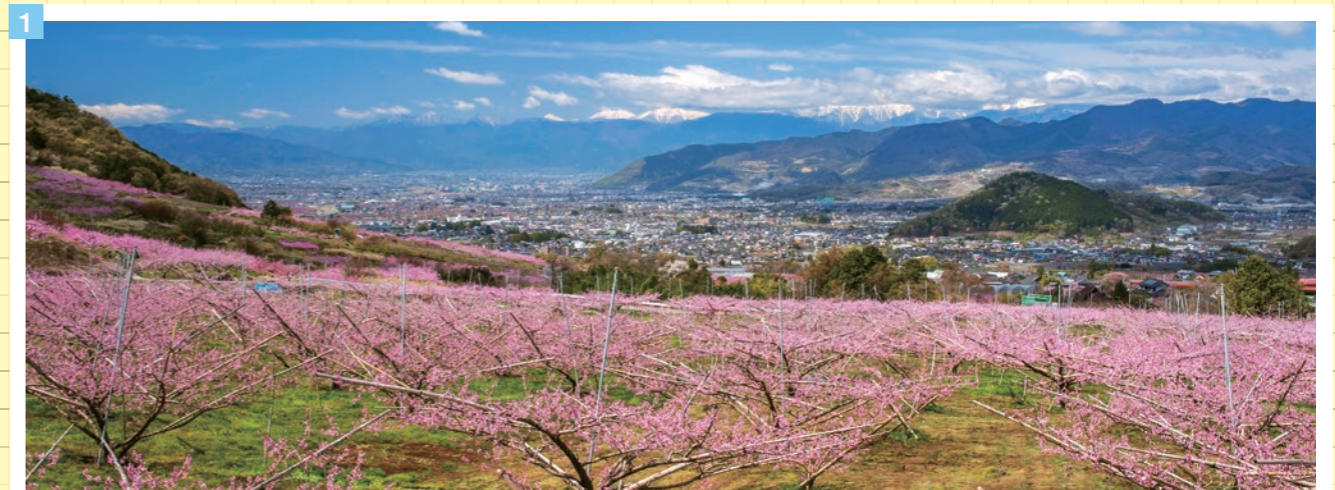
学びは教室の中だけでなく、家庭や地域の経験からも育まれます。学校だけで子どもを育てるのは難しく、地域や家庭とのつながりが欠かせません。学力や体力だけでなく、思いやりや感性を育む教育、大人になっても学びを続けられる環境、そして文化や伝統を次世代につなぐこと。これらが重要になってきます。

教育分野では、少子化で学校規模が小さくなるなか、ICT端末の活用や特別支援教育の充実、教員の負担軽減などが課題です。市はGIGAスクール構想に沿って学習環境を整備し、個別最適な学習にも対応しています。生涯学習では公民館や図書館が拠点となって、さまざまな講座が開催されているので市民が交流できる場となっています。また、地域における文化財の保護・活用への意識を高めるため積極的に学習機会を提供しています。

甲州市は学校施設の耐震化やICT教育の推進に加え、地域ぐるみで児童生徒を見守る仕組みを強化。生涯学習では健康づくりや地域課題解決をテーマにした講座を広げ、成果を生活や活動に活かせるようにしています。図書館では高齢者や障害者向けサービスを検討し、誰もが利用しやすい環境づくりを進めています。文化財の分野では、日本遺産「日本ワイン140年史」を活用し、構成文化財の再整備や解説資料の充実も進められています。

こうした動きの先にあるのは、学校で力を伸ばす子ども、地域で学びや趣味を楽しむ大人、図書館で世代を超えた交流を育む光景です。学びや文化が生活の中に自然に溶け込み、子どもから大人までが成長や交流を楽しめる豊かな場が広がっていくことでしょう。

# 自然と共生する環境保全のまちづくり



1.桃の花が美しく咲く甲州市の眺望 2.市内各所に設置されているリサイクルステーション 3.自治会の河川清掃の様子

生まれ育った  
美しい景色を  
次世代に!

## Report 豊かな自然を守り育てるとともに、 環境保全に向けて行動する自然と共生するまちへ

甲州市の風景を形づくる果樹園や山々は、美しいだけでなく暮らしを支える基盤です。市の魅力や産業の根幹を支えてきた自然環境でもあり、その維持と継承は地域にとって欠かすことができません。だからこそ環境を次世代に引き継ぐ仕組みづくりが必要。焦点はエネルギー、ごみや排水の処理、そして水道の安全です。

気候変動や自然災害の増加は、市民生活に直結する課題。老朽化した水道管や下水施設、ごみの減量やリサイクルの推進も避けては通れません。便利さを追い求めた暮らしの裏で、資源や環境への負担が増えてきたことが現実です。市の下水道普及率は6割未満で、農村部では個別対応が求められています。

この環境保全については、太陽光や地中熱など再生可能エネルギー導入を支援し、省エネ設備の普及を推進。「3R(リデュ

ース・リユース・リサイクル)」を市民活動に結びつけ、生ごみ処理機の設置や資源ごみ回収を広げています。さらに学校や公共施設でも環境教育や分別収集を徹底し、若い世代が自然に取り組みに参加できる環境を整えています。水道施設は計画的に更新し、災害時にも供給が止まらない体制を整備。下水や浄化槽は重点地区から順に整備、公共水域の水質検査や河川清掃、地域の美化活動も住民と協力して進められています。

こうした取り組みは国連のSDGsとも直結しています。「安全な水とトイレを」「気候変動に具体的な対策を」などの国際目標を、地域の実践に重ねていく。澄んだ川の流れや整備された緑地を実際に目にしたとき、そこに暮らす人や訪れる人が「環境が整ったまち」と実感できること。それが未来に残す財産になるのです。



## INTERVIEW

# Koshu City, Our Pride

### 誇り高き甲州市

山梨県甲州市は、日本ワイン発祥の地として知られ、日本一のぶどう生産量を誇る「フルーツ王国」です。千年の歴史を刻む国宝建築や武田氏ゆかりの史跡が点在し、豊かな歴史と文化が息づきます。雄大な山々に抱かれた美しい自然も魅力で、四季折々の絶景が楽しめます。近年では、その独自の果樹農業システムが世界農業遺産に認定されるなど、自然と共生する持続可能なまちづくりも進んでいます。歴史、文化、食、自然が調和した、他に類を見ない魅力が甲州市にはあります。



## ともにつくる参画と協働のまちづくり



1.1階を大規模改修した玉宮公民館 2.高齢者が気軽に集まれる「通いの場」  
3.アメリカ・エイムズ市との国際交流

多様な人々が  
交流することで  
まちが元気に!



### Report

#### 市民と行政が協働した魅力ある地域づくりを進め、 効率的な自治体経営に取り組むまちへ

地域の元気は、人と人のつながりから生まれます。しかし近年はお祭りや行事など地域活動の場が減少し、ご近所さんとも顔を合わせる機会が少なくなりました。だからこそ、市民と行政が互いの役割を認め合い、協力して課題を解決する仕組みが大切になります。

現実には、地域活動の担い手不足や高齢化、交流機会の減少が進んでいます。集まる顔ぶれが固定化され、若い世代の参加が難しい地域もあります。男女共同参画や多様性の理解もさらに進め、行政も人口減少に伴う財源確保や公共施設の老朽化などに対応していく必要があります。

そこで取り組んでいるのは、市民と行政の役割を整理し、協働の仕組みを強化。公民館活動や世代間交流の支援を広げ、地域に関わる入口を増やしています。国際交流や姉妹都市との関わりも継続

し、視野を広げる機会を提供。さらに「パートナーシップ宣誓制度」でLGBTQを含む多様性を尊重する姿勢を示し、誰もが自分らしく暮らせる社会を目指しています。行政ではキャッシュレス納税やふるさと納税の推進、eLTAXIによる税手続きの効率化、公共施設の長寿命化計画も進められています。

やがて地域に関わる世代が広がり、顔を合わせる場面が自然に増える。多様性を認め合う空気の中で、誰もが自分らしく過ごせる。行政サービスを効率化し利便性を高め、市民の負担を減らす。地域で暮らすことが安心や誇りにつながり、その積み重ねがまち全体の力を強めていきます。協働とは抽象的な理想ではなく、一人ひとりの具体的な行動。小さな参加が重なり、地域の力に変わっていく未来を目指しています。



INTERVIEW

01

甲州の風が誘う本物の美味しさ

農家

竹田 周太郎



もともとは東京で会社員をしていましたが、妻の実家が果樹農家だったこと、そして娘が生まれ「成長を近くで見守りたい」と強く思ったことから、2019年に甲州市に移住して就農しました。会社を辞め、農業大学校やアグリマスターのもとで2年間学び、市の厚い支援制度を活用して農地を確保しました。

農業の魅力は暮らしそのものです。数字に追われる営業職時代とは違い、朝日を浴びながら畑に立てる。四季の移ろいを感じながら作物を育て、富士山を眺められる。その当たり前の光景に、今は大きな幸せを感じます。

栽培しているのは、ぶどう、もも、そして柿です。中でも就農した塩山松里地区のころ柿は、この土地を象徴する誇りです。甲州百目柿は実が大きく厚みがあり、干すことで甘みと旨みがぎゅっと凝縮されます。手間も時間もかかりますが、その分だけ地域の歴史を受け継いでいる実感があります。

就農後は、先輩や仲間の支えに助けられてきました。新規就農者同士のつながりも増え、情報を共有したり協力し合ったりできる環境があります。農協の営農サポートセンターでは農機具を安く借りられ、困ったときに相談できる人もいます。そうした仕組みに支えられて、ここまで営農を続けてこれられました。これからは僕自身も相談に乗る立場となり、地域を盛り上げる一員になりたいと思っています。



INTERVIEW

02

甲州ワインの奥深さを味わう

新田酒店店主 ソムリエ

新田 正明



昭和14年に創業した新田商店は、雑貨や米を扱う小さな店でした。三代目となる現在は山梨ワインを中心に扱い、この土地の魅力を届けることに尽力しています。

これまでソムリエとして数多くのワインを味わってきましたが、山梨ワインの要となる「甲州」という品種の魅力は、なんといっても日本食との相性の良さです。特に山梨の郷土料理である漬物や煮物、根菜といった素朴な味わいに寄り添い、決して出しゃばらず、食材の旨みを引き立ててくれます。そして何より、1300年にわたってこの地で受け継がれてきたその歴史に価値があるのだと思っています。

父から店を継ぐ前、世界各地を訪れた際に「自国の文化を誇る人々」に出会う中で、私も故郷に根ざした生き方を選ぼうと決意したのが30年前のこと。ちょうどその頃の甲州市では、ワイナリーの若い後継者たちが海外から学びを持ち帰り、理想のワイン造りを切り拓き始めていました。次第にワインツーリズムなども立ち上がり、食とワインを結びつけ、地域そのものをテロワールとして語る文化が育まれていったのです。

いま世界で認められ始めている甲州ワインの価値は、味わい以上に、この地で育まれてきた文化と誇りにあるのだと思っています。その歩みを伝えていくことこそが、このまちで生まれた私の使命です。



# 03

## 豊かな恵みと歴史を育む甲州の山景

国際山岳ガイド

### 天野 和明



私は山梨県旧大和村の出身で、国際山岳ガイドとして活動しています。大学を卒業してからはアルパインクライマーとして世界の山々に挑み、8000メートル峰を六座登頂しました。地元の山の魅力を伝えることも、自分の大切な役割だと思っています。

東京に20年ほど住みましたが、今は甲州市にUターンしました。大きな理由は山に近いという利便性です。子どもが小学校に入るタイミングで田舎の方がいいと考えたこと、そして「いつかは地元に戻るだろう」という思いがずっと心にありました。

甲州市の山は都心から近いのに2000メートル級の大菩薩嶺をはじめ、なだらかな稜線が続き、険しすぎず幅広い人が楽しめます。多摩川の源流を抱え、水の豊かさや美しい苔、沢の景色にも出会えます。おすすめのを3つ挙げるなら、まずは大菩薩嶺。日本百名山としてその名だけで人を惹きつけます。次に黒川鶏冠山。ここから望む大菩薩嶺は特別な姿を見せます。そして塩ノ山。塩山のシンボルで、駅裏から30分で登れる手軽さと、武田信玄ゆかりの歴史を兼ね備えています。

私は、地元の子どもたちにこの山々の良さを知ってほしいと願っています。外から多くの人が訪れる山々を、地元の人自身が「誇れる場所だ」と感じてもらいたい。若い頃は海外ばかりに目を向けていましたが、戻ってきて改めて故郷の山の価値を実感しました。



# 04

## 甲州市に息づく美と歴史の国宝群

柏尾山大善寺住職

### 井上 哲秀



大善寺は「ぶどう寺」として知られ、甲州市にある国宝の象徴ともいえる寺です。薬師三尊像を安置している本堂薬師堂（弘安9（1286）年建立）は国宝に指定されており、実に730年以上もの時を超えて今日に伝わっています。本尊の薬師如来像はぶどうを手にしたことから「ぶどう薬師」と呼ばれ、甲州ぶどう発祥の所以を現在に繋いできました。

当山の歴史は古く、奈良時代の養老2（718）年に僧行基により開かれたと伝わります。聖武天皇の時代には鎮護国家の勅額を賜った記録があり、鎌倉時代には源頼朝の祈願寺となり、武田信玄公も本堂の修復を行うなど、時の権力者からも大切にされてきました。

また、大善寺と共に歩んできたのが甲州ぶどうの文化です。中国大陸から伝わったぶどうを、この地に根付かせたといわれ、1300年以上もの歴史を持つ品種として伝わっています。長い年月を超えて受け継がれたこのぶどうは、まさに甲州市の宝です。

さらに市内には、「絹本著色達磨図」（向嶽寺）や「小椋韋威鑑兜・大袖付」（菅田神社）といった国宝も残されています。山梨県内に現存する国宝5点のうち3点がこの地に所在しているという事は、まさに甲州市が古くから豊かな歴史と文化を育んできた証であり、このまちの誇りといえるでしょう。

Enjoy Kashiwa

.....甲州市フルーツ娘が行く.....

## 甲州魅力旅

日本ワインの発祥地として知られる甲州市は、訪れる季節ごとに異なる表情を見せてくれます。春はももやすももの花が咲き誇り、夏は清流と緑のぶどう畑が涼を呼び、秋は紅葉と果実の実りに包まれ、冬は澄み渡る空とやわらかな陽ざしに包まれます。そんな豊かな自然の中には、50近くのワイナリーや由緒ある神社仏閣が点在し、日本遺産に選ばれた建造物や文化財も息づいています。さらに“フルーツ王国”と称されるほど多彩な果実に恵まれ、ぶどうやもも、柿など四季折々の味覚も楽しめます。今回、甲州市の観光PRを担う「甲州市フルーツ娘」が実際に各地を巡り、甲州ワインの魅力や美しい風景、神社仏閣、そしてフルーツの魅力を紹介します。四季とともに輝く甲州市の魅力を、彼女たちの視点でたっぷりお届けします。

about

甲州市フルーツ娘

甲州市フルーツ娘は、甲州市が委嘱するPR大使です。地域の特産品であるももやぶどう、ワイン、また歴史文化遺産や観光スポットなどを、市外や県外に出向き、さわやかな笑顔と「おもてなしの心」をもって積極的に紹介し、甲州市の魅力を広める役割を担っています。



## Wine 甲州魅力旅<sup>#1</sup>

### 日本ワイン発祥の地、甲州市。風と光が育む美酒との出会い。

日本ワイン発祥の地として知られる甲州市には、50近くものワイナリーが点在しています。それぞれが大切にしているのは、土地の個性を映し出すこと。造り手ごとのこだわりに触れながら試飲を重ねていくと、ぶどうの産地や醸造法の違いがはっきりと感じられ、一杯ごとに異なる表情を楽しむことができます。近年は国内外のコンクールで高く評価され、世界からも注目を集めています。そんな中で、数あるワイナリーから今回は、国際的な舞台で賞を受けた2社を訪ねてみました。

まず最初に訪ねた勝沼醸造は、1937年創業の老舗ワイナリー。契約農家が育てる甲州ぶどうを用い、甲州ワインの可能性を切り拓いてきた存在です。注目すべきは、ヴィナリ国際ワインコンクールで、日本固有品種「甲州種」のワインとして初の金賞を受賞したこと。この受賞で、甲州ワインの品質の高さがあらためて国際的に認められました。

続いて訪れた白百合醸造は、ブランド名「ロリアン」に“東洋”の意匠を含め、品質向上に努めてきました。スパークリングやブランデーなど幅広い商品を展開し、甲州を中心としたワイン造りでも知られて

います。世界最大級の「デキャンタ・ワールド・ワイン・アワード」では、「甲州 Vigne de Nakagawa 2024」と「甲州 Vigne de Shirayuri 2023」が金賞を受賞。いずれも限定生産の特別な一本とのこと。

日本初の民間ワイン会社の跡地である宮光園もおすすめのスポット。日本遺産にも認定され、明治時代の醸造器具や古写真が日本ワインの黎明期を物語ります。白蔵には日本遺産ビジターセンターが併設され、貴重な資料や文化財が公開されています。勝沼の地で早くからワイン文化が育まれてきたことを実感できる、歴史的価値の高い場所です。

塩山駅前の観光案内所「ぐるり甲州市」では、市内観光の情報とともに試飲も可能。爽やかな酸味と和食に寄り添う甲州ワインを気軽に味わえるのも、旅の楽しみを広げてくれました。甲州市は、歴史と自然、そして造り手の情熱が重なり合う“美酒のふるさと”。ワインと出会うひとときが、この地をめぐる旅をより豊かに、そして心温まるものへと彩ってくれます。

#### 「勝沼ぶどうの丘」は開館50周年を迎えました



ワインをさらに楽しむなら、開館50周年を迎えた勝沼ぶどうの丘へ。約200種類のワインを自由に試せる「ワインカーヴ」は圧巻で、専用のタートヴァンを片手にお気に入りの一本を探す時間はまるで宝探し。丘の上から広がる甲府盆地や南アルプスの景色は、試飲の余韻をいっそう引き立ててくれます。レストランや和食処、天空の湯、展望テラス、新しく誕生した和モダン客室などもあり、週末にはワインフェアも開催されるなど、一日を通して総合的に楽しめる場所です。

日本遺産

Koshu City Column

### 日本ワイン140年史

—国産ブドウで醸造する和 문화の結晶—

茨城県牛久市と共同で申請した「日本ワイン140年史—国産ブドウで醸造する和 문화の結晶—」のストーリーが、2020年6月に日本遺産として認定されました。

明治10年(1877)、我が国初の民間ワイナリー「大日本山梨葡萄酒会社」が祝村(勝沼地域)に設立され、同社は高野正誠と土屋龍憲の二青年を、本格的なワイン醸造技術を習得させるためフランスへ派遣しました。2年後に帰国した二人は、日本固有種の甲州種ぶどうを使い、フランス仕込みの製法で「日本ワイン」を完成させます。

ところが、本格ワインの渋みや酸味は当時の日本人の嗜好には合わず、会社は明治19年(1886)に解散しました。その後、宮崎光太郎が土屋と共に会社の器具を受け継ぎ、新たに醸造を始め、ワインという新しい産業の継続に尽力し、ぶどう狩りのような観光資源としても注目を集めました。

また、高野は学んだ知識と技術を『葡萄三説』という書物にまとめ、ワイン醸造を志す人々を支援しました。日本ワインの幕開けは、まさに勝沼の地から始まったのです。



高野正誠(左)と土屋助次郎(龍憲)(右)



最古の日本ワイン(左)



旧宮崎葡萄酒醸造所施設(宮光園)



S scenery

## 甲州魅力旅 #2

### 心と体が満たされる、日本の原風景と自然美。

甲州市を歩くと、心と体をゆったりと解きほぐしてくれるような日本の原風景に出会えます。四季ごとに彩りを変える果樹園や山々の景色は、訪れる人を飽きさせません。とりわけ「牛奥みはらしの丘」からの眺めは格別で、春には斜面一面に桃の花が咲き誇り、濃いピンクのじゅうたんのような光景が広がります。すももの白い花が風に揺れる頃もまた美しく、季節の移ろいを実感できます。日中は南アルプスの雄大な稜線が広がり、夜は甲府盆地を照らす幻想的な夜景に包まれる絶景スポットです。

もう一つの絶景が「勝沼ぶどうの丘」。恋人の聖地に登録されており、甲府盆地を一望する美しい風景が、非現実的なひと時を演出してくれます。温泉「天空の湯」からは南アルプスや秩父山地の稜線を眺めることができ、ゆっくりとお湯に浸かりながら景色を楽しめるのも魅力。今年で開館50周年を迎えるにあたって和モダンな客室も新設され、滞在のスタイルがさらに広がりました。

豊かな自然に抱かれたいなら、大和地区の「日川渓谷竜門峡」へ。竜門橋から栖雲寺へ続く全長2.4kmの遊歩道は、渓流の音を聞きながら

から気軽にハイキングができる人気のコースです。「落合三つの滝」や「竜門の滝」など見どころも多く、春の新緑から秋の紅葉まで、訪れるたびに違う表情に出会えます。

歴史にふれる建造物も見逃せません。「旧高野家住宅(甘草屋敷)」は江戸時代に幕府の命で薬草を栽培した旧家で、主屋を含む九棟が国の重要文化財に指定されています。現在は「薬草の花咲く歴史の公園」として公開され、広い座敷や急な階段、昔ながらの道具に触れると、当時の生活がありありと想像できます。

さらに「上条集落」では、茅葺切妻造の民家がひな壇状に並び、養蚕の栄えた時代を今に伝えていきます。周囲の畑や自然と一体となった景観は「甲州市塩山下小田原上条」として国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。一つの集落でこれほど茅葺民家がまとまって残るのは全国的にも稀で、地域の人々の手で守られる景観は、四季の移ろいとともにも私たちを魅了します。

甲州市の風景は、春の花々、夏の清流、秋の紅葉、冬の澄んだ空。四季の表情に触れるたびに、心も体も穏やかに癒やされていきます。

日本遺産

Koshu City Column

## 葡萄畑が織りなす風景

—山梨県峡東地域—

甲州市勝沼地域の葡萄栽培は、奈良時代の名僧・行基の夢に、葡萄を手にした薬師如来が現れたことに始まったと伝えられています。江戸時代には、後に日本の葡萄栽培の原型とされる甲州式と呼ばれる棚栽培が開始。甲州街道勝沼宿で旅人に振る舞われたことから、勝沼の名産品として広く知られるようになり、幕府への献上品や江戸の間屋にも出荷されました。

また明治初期には、日本初の民営ワイン醸造会社が勝沼に設立され、2人の青年がフランスへ渡って本格的なワイン醸造を学び、この地に葡萄酒文化が芽生え定着していきます。それに伴い葡萄畑は面的な広がりをみせましたが、峡東地域全体に栽培が広がったのは、戦後の高度経済成長によって食卓にフルーツが並ぶようになった食生活の変化が背景にありました。

百年を超える年月をかけて築かれてきた葡萄畑が広がる峡東地域の風景。その中には、今も受け継がれる技術や建造物、そして日常に溶け込んだワインがあり、それらすべてが山梨県峡東地域ならではの魅力を形づくっています。



甲州市勝沼地域の葡萄栽培

重伝建地区

Koshu City Column

## 上条集落

—養蚕の隆盛をいまに伝える—

県内で2地区目の重要伝統的建造物群保存地区に選定された上条集落は、金剛山の台地北側にある観音堂を中心に広がる静かな山里です。ここには、江戸時代から伝わる茅葺切妻造の主屋が斜面を雛壇のように整えた宅地に並び、蚕室などの附属屋とともに今も残されています。

旧高野家住宅(重要文化財)に代表されるこの形式の民家は、江戸時代から戦後にかけて盛んに行われた養蚕の暮らしを支えてきたもの。屋根の中央に設けられた突き上げ屋根は外観の大きな特徴で、小屋裏で作業をする際の明り取りや煙の抜け道として役立ちました。

集落内に見られる突き上げ屋根は、調査の結果、その多くが明治時代に付け加えられたものとわかっています。また、集落の集会場も兼ねる観音堂には、地元出身の木食僧・木食白道が刻んだ、高さ2メートルを超える一木百観音像が静かに安置されています。



上条集落遠景



上条集落



伝統的な茅葺切妻造主屋



# fruits

## 甲州魅力旅 #4

### 甲州市はフルーツのまち。 溢れる果汁と絶景に心が躍る。

豊かな自然に育まれた「フルーツ王国」として知られる甲州市。市内一帯に広がる果樹畑を目にすると、長い歴史と人々の暮らしが果物と深く結びついてきたことを感じさせます。

特にぶどうは本市が日本栽培の発祥とされる由緒ある作物で、江戸時代には甲州街道を行き交う旅人にふるまわれたのだそう。「甲斐の八珍果」として梨や栗、柿などと並んで名声を博しました。長い歳月をかけて築かれてきた果樹文化は、今もまちの象徴であり、誇りでもあります。

こうした文化を支えているのは、この土地ならではの気候や地形です。盆地特有の温暖な気候に加え、日照時間の長さや扇状地の水はけの良さが、果実を甘く香り高く育てます。昼夜の寒暖差が味わいに深みを与え、農家の丁寧な栽培技術と相まって、高品質なフルーツが次々と生み出されてきました。ぶどうやももに限らず、さくらんぼやすも、いちごなど多彩な品種が栽培されているのも、この土地の豊かさを雄弁に物語っています。

市内では収穫したての果実を直接手に入れられるのも魅力のひとつ。農園を訪れば、果物狩りを通じてもぎたて完熟の味わいを存分に感じることができます。

いちご [1月上旬—5月下旬]



近年、塩山地区を中心に、ハウスでのいちご栽培が行われるようになりました。甘くてしっかりとした歯ごたえのある大粒のいちごが人気です。

ころ柿 [11月上旬—12月中旬]



松里地区では江戸時代からころ柿づくりが行われており、今もなお、盛んに出荷されています。甲州百目という大きな柿を使ったころ柿は、吊るして干す風景もまた格別です。

ぶどう [7月下旬—10月下旬]



甲州市ではワイン用だけでなく、生食用のぶどう栽培も盛んです。黒くて大きな粒に甘みがいっぱい詰まった「巨峰」や、皮ごと食べられて甘みと酸味の調和が抜群の「シャインマスカット」が特に人気です。

すもも [6月中旬—8月下旬]



ももよりも標高が高い地域で主に栽培されており、出荷量は山梨県一を誇ります。貴陽・大石・ソルダムなどの品種があります。

もも [6月下旬—8月下旬]



ももの生産量は山梨県が日本一で、甲州市でも平地・山地を問わず、広域で栽培されています。噛んだ瞬間に口の中に溢れる、甘くてジューシーな果汁を思う存分味わっていただきたいです。

さくらんぼ [5月下旬—6月下旬]



塩山地域の東側斜面を使い、ハウス栽培や露地栽培されています。佐藤錦や紅秀峰などの品種があり、さくらんぼ狩りに人気があります。



# Cultural property

## 甲州魅力旅 #3

### 甲州市の神社仏閣から感じる 日本の歴史と趣き。

甲州市のまちを歩くと、日本の歴史と深い趣きを映す神社仏閣が随所に佇んでいるのに気づきます。ここは戦国時代武田氏ゆかりの地として知られ、往時の面影を伝える寺院が今も静かに息づいているのです。

乾徳山恵林寺は武田信玄の菩提寺で、国の名勝に指定された庭園が広がり、四季の草木に包まれたひとときは心を澄ませてくれるようです。天目山栖雲寺には、県内唯一の磨崖仏や名勝の石庭があり、武田家滅亡の物語を秘めた景観は、訪れる人に静かな感慨をもたらします。

ぶどう寺として親しまれる柏尾山大善寺の本堂は国宝に指定。弘安9年(1286年)の刻銘が残る山梨最古の建物で、十二神将立像など貴重な仏像群にも出会えます。鎌倉時代に日蓮聖人がこの地で休息したと伝わる立正寺もまた素朴な佇まいが魅力的。どの季節でも、寺院を訪れるたびに心がふっとやわらぐようです。

境内を歩けば、苔むした石畳や歴史を感じさせる古い山門が出迎えてくれ、耳を澄ませば小鳥のさえずりや風にそよぐ木々の音が心地よく聞こえる。訪れる人に穏やかな時間と日本の伝統の深さを感じさせてくれます。

栖雲寺



貞和4年(1348)に業海本浄が開山した臨済宗の名刹であり、業海が修行した中国の天目山に似ていることからこの地が選ばれた。そのため、日本の「東天目」と呼ばれている。

景德院



勝頼公の死を弔うため徳川家康が建立した。境内には勝頼公親子が自刃した生害石や二百年遠忌で建立された墓などがあり、武田一族の歴史を偲ばせる。

放光寺



800年の歴史の重みを感じさせる放光寺は、早春から晩秋までさまざまな花が咲き誇る「花の寺」として知られ、「木造大日如来坐像」など多くの安田義定にまつわる遺宝を所蔵している。

大善寺



行基草創の伝説を伝える真言宗の古刹。古代三枝氏、鎌倉幕府、甲斐武田氏の庇護を受け、平安時代から江戸時代に及ぶ多くの文化遺産を伝える甲州を代表する寺院の一つ。

雲峰寺



名僧・行基開山の約1260年の歴史を持つ由緒ある寺で、武田家代々の祈願寺として深く崇拝されていた。「孫子の旗」、「日の丸御旗」など数多くの武田家遺宝を保存している。

菅田天神社



国宝「小桜韋威鎧 兜、大袖付」通称「楯無鎧」は、武田家代々の家督のしるし。菅田天神社には、甲斐源氏の祖・新羅三郎義光以来、武田家が受け継いだ重宝が保管されている。

恵林寺



元徳2年(1330)、夢窓国師が開創した名刹で、信玄公の菩提寺として知られている。国指定名勝の庭園は、池泉鑑賞式庭園で夢窓国師の代表作に数えられている。

熊野神社



大同2年(807)に創建され、紀州熊野権現の建築様式に倣ったといわれている。本殿、拝殿ともに重要文化財で、拝殿の再興の際には信玄公が開いたとされている。

高校時代



陸上競技に熱中

駿台甲府高校陸上競技部で、走り幅跳びに邁進。厳しい練習や怪我との葛藤、さらにコロナ禍でインターハイが中止になるなど試練を乗り越え、家族の応援や支えのなかで陸上への情熱を持ち続けてきた。

現在



医師を目指して挑戦中

山梨大学医学部での臨床実習に励み、患者の病状だけでなく背景や人生にも寄り添える医師を目指している。学業と並行して陸上を続け、高校時代の自己ベスト更新を今も追いかけている。継続の力で夢を掴もうと挑戦中。

Profile

2002年生まれ。塩山出身。小学生から陸上競技に取り組み、駿台甲府高校に進学した後も競技に打ち込んだ。現在は山梨大学医学部5年生として学びつつ、陸上競技も継続。自身の怪我の経験を糧に「総合診療医」を目指している。



Hinako



Profile

2003年生まれ。塩山出身。幼少期から英語を学び、中高時代にはスピーチコンテストで県内4連覇。現在は慶應義塾大学法学部政治学科で政治学を学びつつ、デザインの仕事にも挑戦。地域の魅力を世界に発信する夢を追いかけている。

Stella

高校時代



地域活動に熱中

3歳から学び続けた英語を武器に、全国大会や山梨県警の広報活動などにも参加するなど様々な挑戦を続けた。LGBTQ+支援などの社会活動にも取り組み、誰もが暮らしやすい地域をつくる夢に向かって邁進した。

現在



デザインについて勉強中

大学で学びながら翻訳やUI/UXデザインの仕事を実践。英語力とデザインを組み合わせた地域研究やメディア研究を行っている。将来は海外発信を包括的に支えるブランディングや、PR関係の仕事に挑戦するために勉強中。

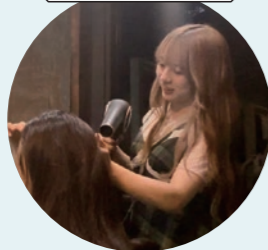
高校時代



ウエイトリフティングに熱中

日川高校でウエイトリフティングに熱中し、スナッチ60kg、クリーン&ジャーク80kgを挙げ全国優勝を果たした経験を持つ。試合前にはプレッシャーで大泣きしてしまうほど繊細だったが、努力を積み重ねて数々の入賞を果たしてきた。

現在



美容師を目指して挑戦中

サロン勤務と専門学校の勉強に励みつつ、競技にも現役で取り組む。後輩の指導にも関わり、審判資格取得にも意欲的。美容とスポーツの両分野で可能性を広げ、女性でも活躍できるウエイトリフティングの魅力を広げている。

Profile

2007年生まれ。塩山出身。中学3年生で兄の誘いからウエイトリフティングを始め、さまざまな大会で入賞を経験。現在は通信制の美容専門学校で学びながら、サロン勤務と競技を両立する社会人1年目。審判資格取得も目指している。



Rio

# Dream Chaser

甲州市ガールズト〜ク

夢を彩る3つの鼓動。諦めないキモチが未来を拓く

きらめく夢を追いかけて、それぞれの舞台上で奮闘する甲州市出身のガールズたち。

前向きに進む彼女たちの言葉には、未来への希望と勇気が溢れています。

努力の先に待つ光を信じ、ひたむきに歩む彼女たちの等身大のトークをお届けします。

Rio  
平塚 麗桜

Stella  
秋山 星遥

Hinako  
古屋 日奈子





努力や挑戦はときに悔しさや迷いを伴うけれど、  
それを乗り越えた先には必ず新しい景色があります。  
自分のペースで続けること、諦めずに一步を積み重ねることが、  
未来を切り開く力になる。  
夢を追うあなたを、きっと誰かが支えてくれます。  
競技や勉強、そして自分らしい生き方、それぞれの道は違っても  
「続ける強さ」と「挑む勇気」があれば、道は必ず開けるでしょう。  
皆さんの輝く未来を、心から応援しています！

**古屋** 私が陸上競技を始めたのは小学4年生のときですね。近所に陸上クラブができて、たまたま大会を見に行った際に「自分にもできるかもしれない」と思ったのがきっかけでした。中学からは走り幅跳びを中心に練習を重ねていました。スポーツ推薦で駿台甲府高校へ進学した後も陸上に打ち込む日々でした。なかでも印象深いのは高校2年の選手権大会。1か月前の総体で敗れた相手に、4×400メートルのマイルリレーで勝つことができた瞬間の嬉しさは、今も鮮明に憶えています。

**平塚** 私は中学で3年間ソフトボールをしていましたが、引退後に進路に悩んでいたとき、兄からウエイトリフティングを勧められました。ちょうどその年はコロナ禍で夏の大会が冬に延期されていて、「ここで結果を残せば進学にもつながるかもしれない」と、挑戦することにしたんです(笑)。始めてみたら割と自分に適性があつたみたいで、短い準備期間でしたが、幸運にも全国大会で優勝することができましたね。おかげで念願通り日川高校のウエイトリフティング部に入部し、そこからの3年間は多くの大会で入賞を重ねてきました。

**秋山** 英語を学び始めたのは4歳のころ。幼稚園生で英検準2級を取得したことが、当時の自分としても大きな自信になったのを憶えています。中学から高校にかけては4年連続で英語スピーチコンテストに出場し、県大会では毎年1位を獲得。全国大会にも挑戦しました。そうした実績が評価されて、1日警察署長として、

てきたと思います。特に英語は勉強し続ければ結果が返ってくる実感があつたので、モチベーションも維持できました。

**古屋** 現在は山梨大学医学部に進学して総合診療医を目指しているのですが、高校で怪我をしたときに「痛みに向き合えるのは医師しかいない」と思ったのが大きかったですね。患者さんと接する中で、疾患の病態だけでなく、患者さんの背景にも思いを寄せながら医療に関わることに楽しさを感じています。総合診療に興味を持っていくのも、その人の人生全体に寄り添いたいという思いがあるからですね。

**平塚** 今年から美容の専門学校に通いながら父のサロンで働いているんですけど、4月と5月は辛すぎてずっと「辞めたい」って思っていました(笑)。でもここで逃げたら絶対後悔すると思って。今はまつエクやネイルなどいろいろな資格に挑戦して、本当にやりたいことを探していますね。

**秋山** 私は東京都内の大学で政治学を学びながら、UI・UXやグラフィック、Webデザインなども勉強しています。将来はこれまでに培った英語力とデザインスキルを活かして、包括的なブランディング事業に携わっていきたくて考えています。日本の市場だけでなく、海外市場に地元企業の魅力を伝えたいですね。

**古屋・平塚** なんかつくレベル高いことやってる…(笑)

**秋山** いやいやとんでもないです(笑)。ただ純粹に私はこの地域が好きなんです。人も温かいし、なにより、自分を支えてくれている母親が生まれ育ったまちなな

山梨県警察の外国人向け啓発動画に出演しました。高校時代には、甲州市が県内初として導入したパートナーシップ制度のサポートや、LGBTQ+コミュニティの活動にも関わり、「甲州市をもっと多くの人に託って住みやすいまちにしたい」という思いをかたちにしてきました。

**古屋** みなさんすごい実績ですね。私は高校3年のとき怪我に悩まされて、一度陸上から離れたタイミングもありました。また悔しいことに、最後の総体はコロナ禍で開催できなくなってしまつて…。今も陸上を続けているのですが、そのときの不完全燃焼な想いや、一度離れたからこそ感じた陸上への熱意が、自分の原動力になっていると思います。

**平塚** 幸運にも結果は残せたけど、大会前はいつも緊張で泣いてばかりでしたよ。試合前にはペットボルの蓋も開けられなくなつちゃうぐらい(笑)

**古屋・秋山** えー、そう見えない(笑)  
**平塚** こう見えて意外とナイーブなんですよ(笑)。でもそんなときは「今日は練習しない」と割り切つて、好きなことだけして泣いて寝て、次の日から仕切り直す！ そんな感じでなんとか乗り切ってきました。高校3年の全国選抜で中学以来勝てなかつたライバルに勝てたときは嬉しかったですね。

**秋山** 私は2人のようにスポーツの舞台ではなかつたけれど、大学受験や大学生活に向けて、TOEFLやIELTSなどのスコアアップに励みましたね。夢や目標を持った時点で、それを叶えるために何ができるかを考えることを大切に

で、これまでの恩返しもしていきたいと思つています。それに、私たちより下の世代にもこのまちでも活躍できるように環境を作つていきたいですね。

**平塚** 下の世代の話でいうと、「平塚さんの動画を見てウエイトリフティングを始めました」と言われることが結構あつて。今も競技は続いているんですけど、すごく嬉しいし励みになるんですよ。もっと多くの女の子に「ウエイトは楽しい」と知ってもらいたいし、今後後輩のセコンドや審判など、様々な形で競技に関わり続けたいです。

**秋山** 挑戦したくても、環境、年齢や性別、セクシュアリティで踏み出せない人もいるかもしれない。どうか今は自分を責めずに、潰されずに、自分を信じられるようになるその時まで、挑戦したいと思つたその感情を大切にしてほしいです。

**古屋** 自分が一番大切にしてるのは継続すること。大変なことはたくさんあるけれど、どんなに疲れていても毎日少しでも論文を読んだり問題を解いたりして、「昨日の自分に負けない」ことを意識しています。

**平塚・秋山** 古屋さんめっちゃストイックですよ(笑)

**古屋** そうかもしれませんね(笑)。負けず嫌いだからこそ続けてこられたし、続けることで道は開けると思っています。  
**平塚** ウエイトも一気に伸ばすんじゃないかと、少しずつ重さを上げていきますからね。

**秋山** 努力は必ずしも報われるとは限らないけれど、無駄なことはない。ですよ(笑)。

# 甲州市 20年の歩み

- 2005年 11月  
(平成17年)  
・塩山市・勝沼町・大和村が合併「甲州市制施行」  
・甲州市役所開庁式①
- 2006年 4月  
(平成18年)  
・神奈川県大和市と「友好都市協定」締結  
・甲州市子ども憲章制定
- 2006年 8月  
(平成18年)  
・フランス共和国ボルドー市と「姉妹都市協定」締結
- 2006年 10月  
(平成18年)  
・千葉県富津市と「友好都市及び災害時相互援助協定」締結
- 2006年 11月  
(平成18年)  
・市制施行1周年記念式典挙行
- 2006年 12月  
(平成18年)  
・甲州市市民憲章、市の「木」「花」「鳥」制定  
・景徳院「武田勝頼の墓」から経石が出土②  
・甲州市空き家情報バンク制度開始
- 2007年 5月  
(平成19年)  
・アメリカ合衆国アイオワ州エイムズ市と「友好都市協定」締結③
- 2007年 9月  
(平成19年)  
・甲州市「親のあり方」十か条制定
- 2007年 11月  
(平成19年)  
・経済産業省「近代化産業遺産群」に認定
- 2008年 3月  
(平成20年)  
・第1次甲州市総合計画策定
- 2008年 4月  
(平成20年)  
・ふれあいの森総合公園フルーツパラダイスオープン④
- 2008年 5月  
(平成20年)  
・国道411号塩山バイパス開通
- 2008年 5月  
(平成20年)  
・フルーツライン(甲州市域)全面供用開始
- 2008年 5月  
(平成20年)  
・峡東地域広域水道企業団 柚口浄水場水道用水供給開始



①甲州市役所開庁式



③アメリカ合衆国アイオワ州エイムズ市と「友好都市協定」締結



②景徳院「武田勝頼の墓」から経石が出土

- 2009年 3月  
(平成21年)  
・塩山消防署勝沼分署完成
- 2009年 7月  
(平成21年)  
・甲州市都市計画マスタープラン策定
- 2009年 7月  
(平成21年)  
・第4回まち交大賞 創意工夫大賞を受賞
- 2010年 1月  
(平成22年)  
・KODJ甲州ワインプロモーション活動がスタート
- 2010年 3月  
(平成22年)  
・甚六桜公園「さくら橋」完成
- 2010年 4月  
(平成22年)  
・ばきばきマンの歌(甲州市食育の歌)発表
- 2010年 4月  
(平成22年)  
・甲州民家情報館(現もしもしの家)完成
- 2010年 7月  
(平成22年)  
・甲州市役所 新本庁舎開庁式⑥
- 2010年 11月  
(平成22年)  
・市制施行5周年記念式典挙行
- 2011年 1月  
(平成23年)  
・市民の歌「みのりの風 虹の丘」制定・披露⑦
- 2011年 3月  
(平成23年)  
・オルビス(株)・甲州市里山創造推進協議会等と「企業の森(甲州市オルビスの森)森林整備協定」締結
- 2011年 3月  
(平成23年)  
・近代産業遺産「宮光園」オープン⑧
- 2011年 4月  
(平成23年)  
・子ども医療費の窓口無料化拡大
- 2011年 7月  
(平成23年)  
・甲州市就農定着支援制度推進事業開始
- 2011年 10月  
(平成23年)  
・甲州市地域おこし協力隊事業開始
- 2011年 11月  
(平成23年)  
・甲州市「確かな学力」育成プロジェクト開始
- 2011年 11月  
(平成23年)  
・デマンドバス(塩山地域)実証運行開始
- 2012年 3月  
(平成24年)  
・塩山総合グラウンド リニューアル
- 2012年 7月  
(平成24年)  
・甘草屋敷子ども図書館 10周年記念講演会開催
- 2012年 12月  
(平成24年)  
・甲州市景観条例制定/景観計画策定



⑥甲州市役所 新本庁舎開庁式



⑦市民の歌「みのりの風 虹の丘」制定・披露



④ふれあいの森総合公園 フルーツパラダイスオープン



⑤甲州市原産地呼称ワイン認証条例制定



⑧近代産業遺産「宮光園」オープン



# 甲州市20年の歩み

2013年 1月  
第28回国民文化祭やまなし2013<sup>⑨</sup>

(平成25年) 10月  
市道下塩後22号線「東第1工区」開通

11月  
甲州市観光大使委嘱

(辰巳琢郎さん／大川栄子さん／中村桂さん／土屋哲夫さん／天野和明さん／小川壮太さん)

12月  
甲州市民文化会館 リニューアル<sup>⑩</sup>

2014年 2月  
市内全域に1m超の記録的積雪

(平成26年) 4月  
子ども医療費助成の対象を中学校3年生まで拡大

防災行政無線のデジタル化を実施

全国ブドウ産地協議会設立<sup>⑪</sup>

第1回全国ブドウサミット開催

7月  
甲州市学校給食センター完成<sup>⑪</sup>

10月  
産前・産後ママのほっとスペース開所

甲州ワインで乾杯条例(通称)施行<sup>⑫</sup>

勝沼ぶどうの丘が「恋人の聖地」に認定

2015年 7月  
「甲州市塩山下小田原上条」が重要伝統的建造物群保存地区に選定<sup>⑬</sup>

(平成27年) 首都圏甲州市県人会設立

「わだつみ平和文庫所蔵物(約3万3千点)が甲州市へ寄贈

甲州中央防災広場「塩むすび」完成<sup>⑭</sup>

市制施行10周年記念式典挙行

2016年 2月  
甲州市総合戦略／甲州市人口ビジョン策定

(平成28年) 3月  
甲州市男女共同参画推進条例制定

塩山高校吹奏楽部「議場コンサート」開催

8月  
小中学校普通教室へのエアコン設置事業完了

2017年 3月  
甲州市歴史的風致維持向上計画認定

(平成29年) 「盆地に適応した山梨の複合的果樹システム」が日本農業遺産に認定

市道下塩後22号線「熊野・下於曽工区」開通

甲府・峡東クリーンセンター稼働

ケカチ遺跡から「和歌刻書土器」が出土<sup>⑮</sup>

認知症カフェ「オレンジカフェ」開設

甲州市鉄道利用通学者支援制度開始

2018年 3月  
第2次甲州市総合計画策定

(平成30年) 5月  
シェアオフィス甲州オープン<sup>⑯</sup>

「葡萄畑が織りなす風景―山梨県峡東地域―」／「星降る中部高地の縄文世界―数千年を遡る

黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅―」が日本遺産に認定

健康ポイントこうしゅう事業開始

Library of the year 2018

勝沼図書館が最優秀賞とオーディエンス賞を受賞

2019年 3月  
甲州保護区更生保護サポートセンター開所

(平成31年) 4月  
甲州市塩山体育館 改修落成記念式典挙行<sup>⑰</sup>

(令和元年) 5月  
「平成」から「令和」に改元

6月  
甲州市男女共同参画都市宣言

甲武信ユネスコエコパーク登録決定



# 甲州市20年の歩み



⑫甲州ワインで乾杯条例(通称)施行



⑨第28回国民文化祭やまなし2013



⑩甲州市民文化会館 リニューアル



⑪甲州市学校給食センター完成



⑬「甲州市塩山下小田原上条」が重要伝統的建造物群保存地区に選定



⑭甲州市中央防災広場「塩むすび」完成



⑮ケカチ遺跡から「和歌刻書土器」が出土



⑯シェアオフィス甲州オープン



⑰甲州市塩山体育館 改修落成記念式典挙行



# 甲州市20年の歩み

- 2020年 1月
  - 田辺篤市長 退任
- (令和2年) 2月
  - 鈴木幹夫市長 就任
  - 甲州市新型コロナウイルス感染症警戒対策本部を設置
  - 甲州市子ども家庭障害者支援センターを
  - 「甲州市福祉あんしん相談センター」として
  - リニューアル<sup>⑱</sup>
- 4月
  - 甲州市福祉あんしん相談センターとして
  - リニューアル<sup>⑱</sup>
- 6月
  - 釈迦堂遺跡博物館 開館30周年記念リニューアルオープン
  - 「日本ワイン140年史・国産ブドウで醸造する
  - 和文化的の結晶」が日本遺産に認定<sup>⑲</sup>
- 8月
  - 勝沼ぶどうの丘 開館45周年
- 10月
  - 勝沼ぶどうの丘に国内最多15台のワインサーバーを設置
  - 甲州市民バス 勝沼地域循環2路線および
  - 甲州市縦断線に新車両を導入
  - 甲州市ストリートピアノを設置<sup>⑳</sup>
- 11月
  - 一人一台端末を整備し、小中学校の教育のICT化を実現
- 2021年 2月
  - やまなし「ゼロカーボンシティ」を共同宣言<sup>㉑</sup>
- (令和3年) 4月
  - 小中学校の給食費を無償化
- 7月
  - 東京2020五輪フランス共和国
  - ハンドボールチーム事前キャンプ
  - 甲州市パートナーシップ宣誓制度開始
- 12月
  - 勝沼健康福祉センターリニューアルオープン
  - 甲州市男女共同参画都市宣言
- 2022年 4月
  - 「峡東地域の扇状地に適した果樹農業システム」
  - (岐阜三市)が世界農業遺産に認定<sup>㉒</sup>
- (令和4年) 6月
  - 甲州市観光大使委嘱(小林幸子さん)
- 11月
  - 甲州市観光大使委嘱(小林幸子さん)



⑲「日本ワイン140年史・国産ワインで醸造する和文化的の結晶」が日本遺産に認定



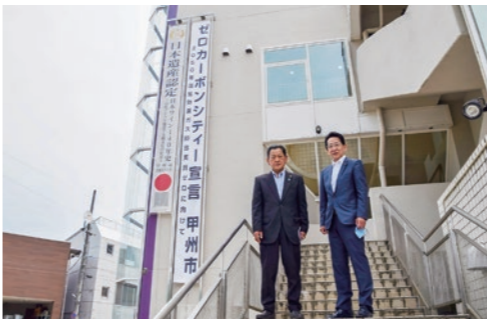
⑳「峡東地域の扇状地に適した果樹農業システム」(岐阜三市)が世界農業遺産に認定



⑱甲州市子ども家庭障害者支援センター リニューアル



⑳甲州市ストリートピアノを設置



㉑やまなし「ゼロカーボンシティ」を共同宣言

12月

・塩山テニス場改修完了。最新式の人工芝を導入

2023年 3月

・第1回こうしゅう桜フェスタを実施<sup>㉓</sup>

(令和5年)

・塩山駅南口再整備が完了

・公立保育所における使用済おむつの回収・廃棄事業開始

・イタリア共和国ローマ市で開催された

世界農業遺産認定証授与式に出席<sup>㉔</sup>

・ぶどうの丘展望テラスがリニューアルオープン

・甲州市議会が第1回子ども議会を開催

・峡東地域世界農業遺産フェスティバル2023を開催

・友好親善都市提携30周年記念「エイムズ市」訪問

2024年 3月

・大日影トンネル遊歩道リニューアルオープン<sup>㉕</sup>

(令和6年)

・日本貿易振興機構と特産品の輸出や市内企業の

海外展開などの推進に関する連携協定を締結

・市内小中学校におけるICTを活用した学習の積極的な

取り組みが評価され、「学校情報化先進地域」に認定

・市内在住の子どもの保育料の完全無償化を実現

・静岡県牧之原市と観光交流などの相互連携を深めることを目的に観光交流協定を締結<sup>㉖</sup>

2025年 3月

・塩山北中学校閉校式

(令和7年)

・NPO法人フードバンク山梨と

「子どもの貧困対策連携協定」を締結

・勝沼ぶどうの丘が開館50周年を迎え、

記念パーティー・感謝祭を開催<sup>㉗</sup>

・市制施行20周年記念式典挙行



㉔イタリア共和国ローマ市で開催された世界農業遺産認定証授与式に出席



㉗勝沼ぶどうの丘が開館50周年を迎え、記念パーティー・感謝祭を開催



㉓第1回こうしゅう桜フェスタを実施



㉕大日影トンネル遊歩道 リニューアルオープン



㉖静岡県牧之原市と観光交流などの相互連携を深めることを目的に観光交流協定を締結



# 甲州市20年の歩み

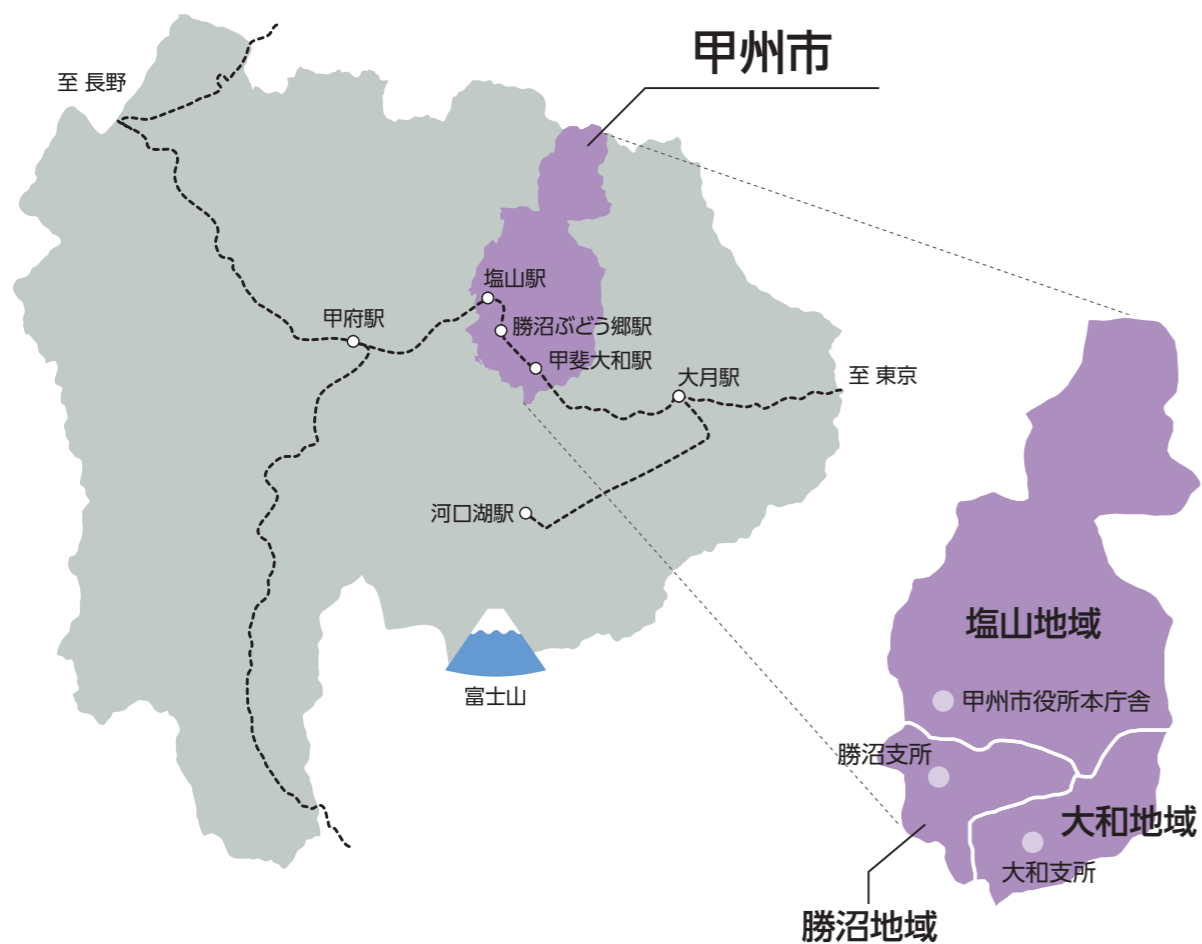
# 2025 DATA for KOSHU

## 甲州市市勢要覧 資料編



### 市章

武田菱と光に輝く葡萄の実を表現しています。  
豊かな自然、歴史と文化に彩られた  
果樹園交流のまちをイメージしています。



### 面積

264.11km<sup>2</sup>

### 市役所本庁舎の位置

標高 / 402.7m  
北緯 / 35度42分1秒  
東経 / 138度43分58秒

令和7年(2025年)11月発行

甲州市役所 本庁舎  
〒404-8501 甲州市塩山上於曾1085番地1  
TEL.0553-32-2111(代)

甲州市役所 勝沼支所  
〒409-1392 甲州市勝沼町勝沼756番地1  
TEL.0553-44-1111(代)

甲州市役所 大和支所  
〒409-1298 甲州市大和町初鹿野1693番地1  
TEL.0553-48-2111(代)

HP <https://www.city.koshu.yamanashi.jp>  
MAIL [info@city.koshu.yamanashi.jp](mailto:info@city.koshu.yamanashi.jp)

## 市議会 CITY COUNCIL



定例会本会議



キャリア教育出前授業



子ども議会



**公正で活気ある議会運営を推進し  
市民の皆さまの声を  
市政に反映させてまいります**

甲州市議会は、現在定数17名の議員によって構成され、市民の代表として皆さんの「声」を市政に反映させています。

議会は、年4回の定例会（3月、6月、9月、12月）と必要に応じて臨時会が開かれ、市政の運営方針や条例、予算・決算など、市政全般における重要案件を審議しています。

議会内には、提出された議案等を専門的に調査・審査するため、「総務文教常任委員会」、「厚生経済常任委員会」、「予算決算常任委員会」の3つの常任委員会を設置しています。

さらに、円滑な議会運営を図るため、「議会運営委員会」を、特定の案件について調査・審査するため、必要に応じて「特別委員会」を設置しています。

また、「こうしゅう市議会広報」を年4回発行しており、「議会広報編集委員会」が中心となっ

て企画・構成・編集を担い、議会活動を分かりやすくお伝えしています。

加えて、次代を担う子どもたちへの啓発や市民との対話の場を大切にしています。市内すべての小・中学校に直接議員が出向き、議会の仕組みなどについての授業を行う「キャリア教育出前授業」や、各校の代表児童・生徒が模擬議会を行う「子ども議会」を開催しています。

また、市民の皆さんから直接ご意見を伺う場として「議会報告会」を実施するなど、さまざまな形で議会の取り組みを進めています。

市議会は、二元代表制のもとで議決機関としての役割と機能を十分に発揮し、喫緊の課題や社会情勢の変化に対応しながら、市政の発展と市民福祉の向上を目指し、より活発な議会運営に取り組んでいます。

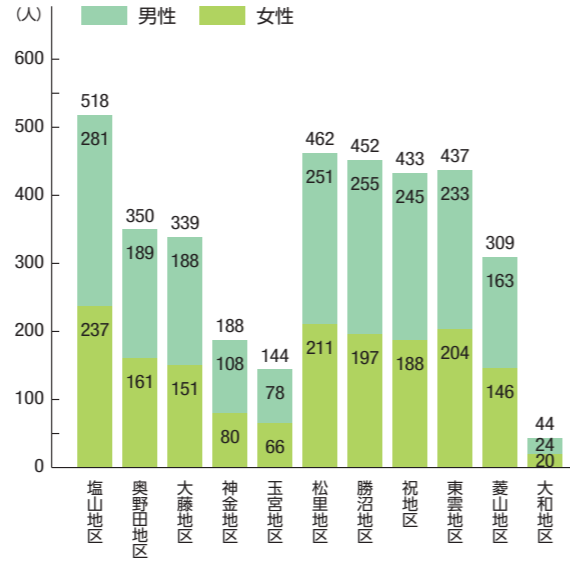
### 経営耕地面積

(2020年農林業センサス 資料:市民課)

地区	田 (ha)	畑 (ha)			合計
		果樹園	普通畑	計	
塩山地区	0	190	5	195	195
奥野田地区	-	131	4	135	135
大藤地区	0	120	2	122	122
神金地区	1	72	6	78	79
玉宮地区	2	55	4	59	61
松里地区	1	160	4	164	165
勝沼地区	-	177	2	179	179
祝地区	-	159	1	160	160
東雲地区	-	170	1	171	171
菱山地区	1	125	1	126	127
大和地区	0	13	2	15	15

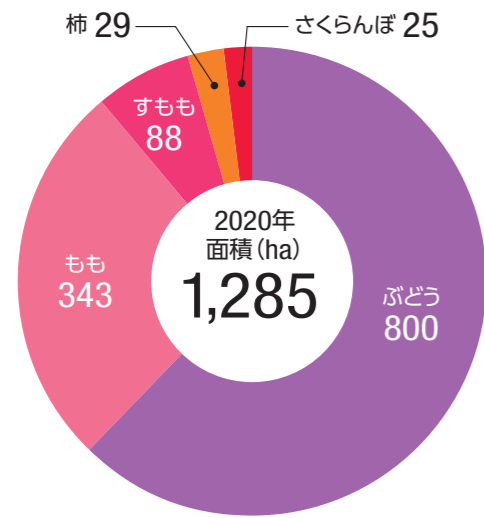
### 農家人口

(2020年農林業センサス 資料:市民課)



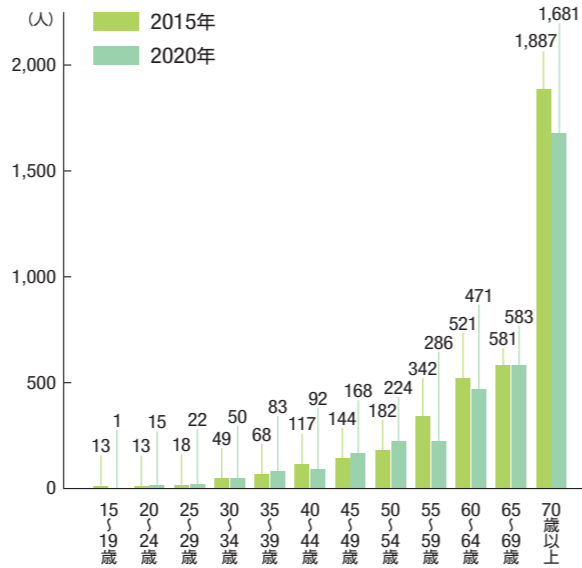
### 主要農作物(結果樹)面積

(2020年 農林業センサス 資料:市民課)



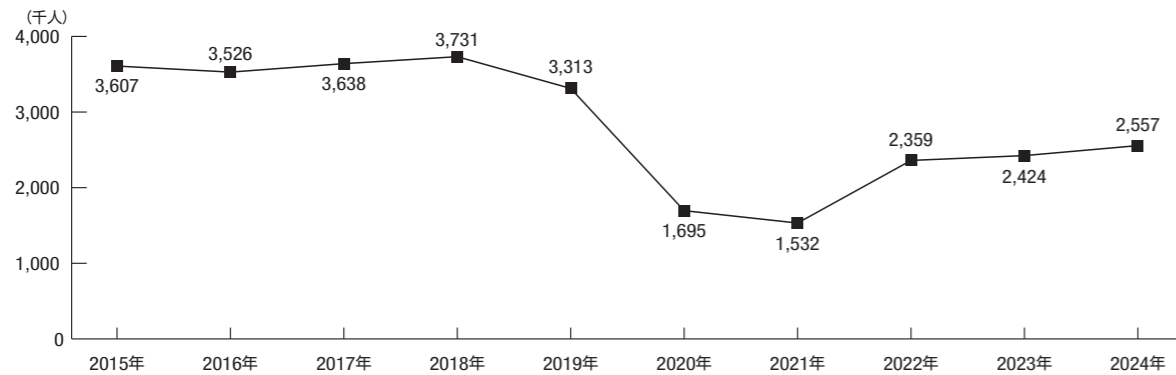
### 年代別農業就業人口の推移

(2020年農林業センサス 資料:市民課)



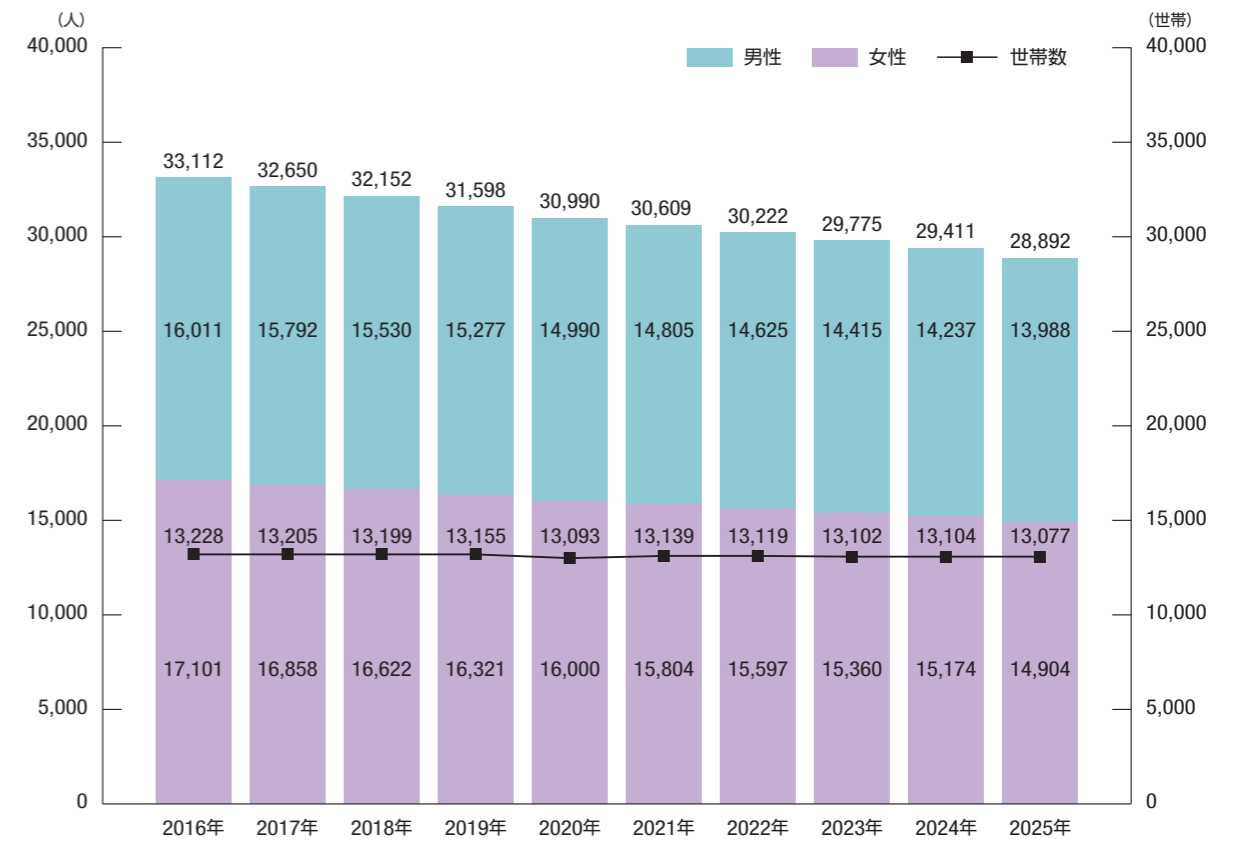
### 観光入込者数

(資料:観光商工課)



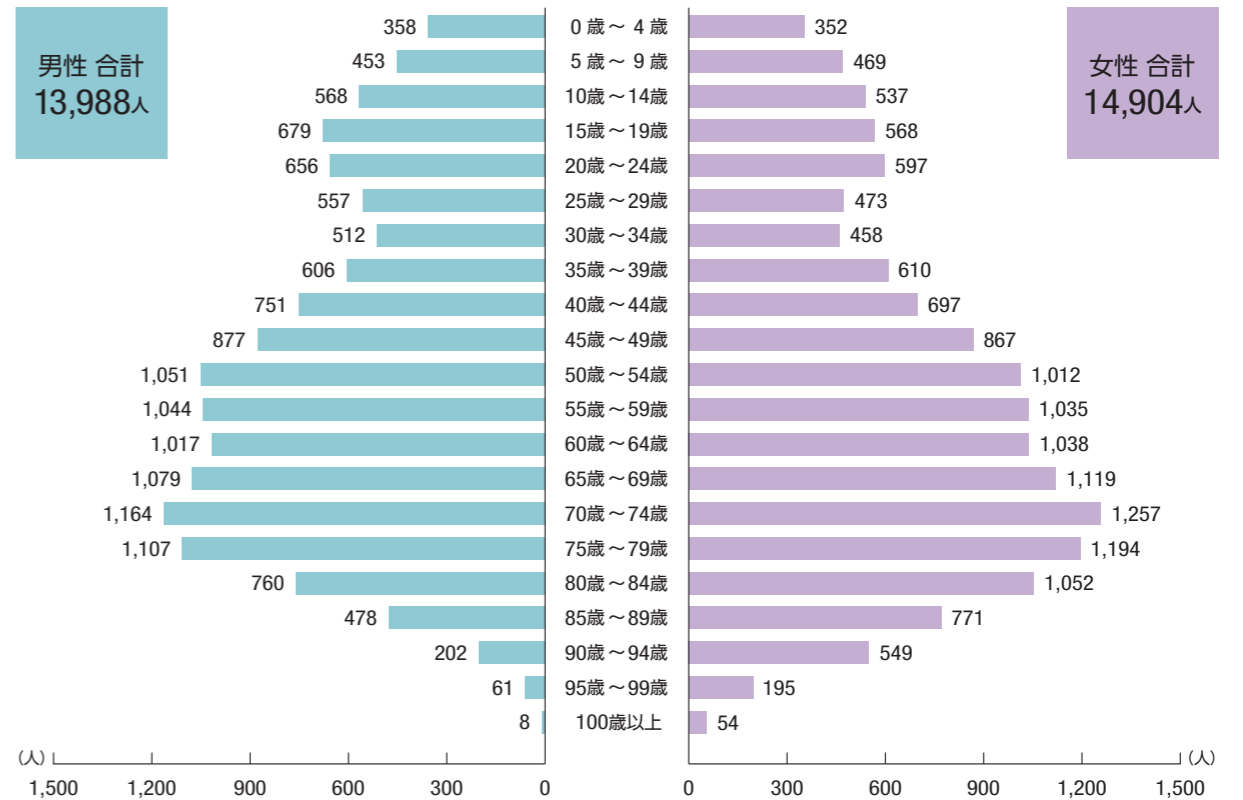
### 人口(男女別)と世帯数の推移

(毎年4月1日現在 資料:市民課)



### 年齢(5歳階級)男女別人口の推移

(2025年4月1日現在 資料:市民課)



## 甲州市 市民憲章

私たちは、豊かな自然と歴史、文化に育まれた甲州市民であることを自覚し、誇りと責任をもって明るく豊かなまちをつくるため、ここに憲章を定めます。

- 一、自然と環境を大切にし、美しいまちをつくります。
- 一、歴史に学び、文化の薫り高いまちをつくります。
- 一、仕事に誇りをもち、活力あるまちをつくります。
- 一、心身をきたえ、健康で明るいまちをつくります。
- 一、共に助け合い、平和な住みよいまちをつくります。

## 甲州市民の歌

### みりの風 虹の丘

作詞：松井五郎 作曲：森山良子 編曲：信長貴富

- |                                 |                               |                                  |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 木漏れ日に<br>誘われて<br>紡ぐ<br>いのちの詩 | 2. 晴れた空<br>信じあう<br>夢は<br>長い便り | 3. 川の音<br>すく手で<br>作る<br>一葉(ひと)の舟 |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|

- |                                  |                                |                            |
|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 季節を飾る<br>花の名を<br>鶯(とり)たちが<br>告げる | いにしへの声<br>たどるたび<br>なつかしい<br>明日 | 心を繋ぐ<br>道の先<br>待っている<br>笑顔 |
|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------|

- |   |  |  |
|---|--|--|
| あみりの風に<br>包まれて<br>この丘に佇めば<br>きっとあなたは<br>虹のひと色 | あみりの風が<br>吹き抜けて<br>新しく巡る日に<br>きっとわたしも<br>虹のひと色 | あみりの風に<br>包まれて<br>この丘に佇めば<br>きっと誰もが<br>虹のひと色 |
|---|--|--|

きっと誰もが  
虹のひと色

## 市の木・市の花・市の鳥



市の木「ぶどう」



市の花「さくら」



市の鳥「うぐいす」

## 甲州市 子ども憲章

一 考えよう 話し合おう 行動しよう 一

私たちは、豊かな自然と文化・歴史に恵まれた甲州市を大切に、みんなで手を取り合い、夢や希望に向かって力強く行動するため、ここに「子ども憲章」を定めます。

**自然** 私たちは、豊かな自然を大切にし、環境にやさしい、美しいまちをつくります。

**命・友情** 私たちは、この生まれ育った甲州市で、たった一つしかない命を大切にし、友情の輪を広げ協力して精一杯生きていきます。

**家族・思いやり** 私たちは、かけがえない家族を大切に、感謝の気持ちを忘れずに助け合いながら、思いやりの心を持ちます。

**夢・希望** 私たちは、大きな夢や希望を持ち、自分の力を信じて、どんな困難でも、努力して乗り越えていきます。

**文化・歴史** 私たちは、文化や歴史をしっかり学び、いつまでも大切にしていけるとともに、新たな文化や歴史を築いていきます。

## 甲州市 子ども十の誓い

- 一、卑怯なことを憎み、正しいと思ったことはどんどん実行する。
- 二、山・川・草木を大切に、自然と共に生きる。
- 三、他人を思いやり、力の弱い人にやさしくする。
- 四、大勢で一人をいじめない。
- 五、親・きょうだいを大切に、楽しく毎日過ごす。
- 六、知識を求め、知恵を働かせる。
- 七、自分の言ったことには責任をもつ。
- 八、嘘を言わず、正直に生きる。
- 九、自分から大きな声で挨拶をする。
- 十、親が、がっかりするような行いはしない。

## 甲州市 「親のあり方」十か条

- 一、親から進んで挨拶をします。
- 二、手づくりの朝食で、健康な心と体をつくります。
- 三、家族は互いに認め合い、明るい家庭を築きます。
- 四、子どもからの話しかけをじっくり聴きます。
- 五、子どもの個性を認め、長所を伸ばし、ゆったり育てます。
- 六、親が社会のルールをきちんと守ります。
- 七、命の大切さと他人を思いやる気持ちを教えます。
- 八、良いことは誉め、悪いことは叱ります。
- 九、芸術や読書に親しみ、豊かな心を育みます。
- 十、学校を信頼し、共に教育にかかわります。

## 小学校の児童数の推移

(毎年5月1日現在 資料:教育総務課)

学 校 名	年度(児童数:人)									
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
塩山南小	375	369	352	357	352	347	352	352	345	346
塩山北小	159	147	137	130	118	110	106	98	106	96
奥野田小	137	137	120	119	118	111	119	116	112	108
大藤小	56	49	41	39	35	38	39	39	37	37
神金小	58	50	45	37	33	36	38	34	29	28
玉宮小	27	25	28	33	34	27	26	24	24	22
松里小	111	106	107	100	92	87	92	103	111	105
井尻小	127	118	115	104	97	101	88	82	70	67
勝沼小	162	162	155	150	149	139	134	134	129	126
祝小	118	111	107	109	101	97	88	87	78	68
東雲小	152	146	153	143	137	140	131	124	108	99
菱山小	35	33	36	35	37	44	43	48	44	46
大和小	50	47	40	32	35	36	33	36	37	41
合 計	1,567	1,500	1,436	1,388	1,338	1,313	1,289	1,277	1,230	1,189

## 中学校の生徒数の推移

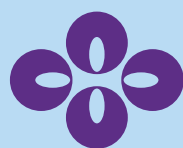
(毎年5月1日現在 資料:教育総務課)

学 校 名	年度(生徒数:人)									
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
塩山中	432	414	400	352	352	330	340	333	349	383
塩山北中	94	88	76	67	64	56	48	34	26	-
松里中	135	125	112	99	105	106	104	70	51	27
勝沼中	295	271	245	245	227	227	232	230	224	207
大和中	23	21	22	28	23	17	-	-	-	-
合 計	979	919	855	791	771	736	724	667	650	617

## 国・県・市指定 文化財件数

(2025年10月1日現在 資料:生涯学習課)

種 別	国指定		県指定	市指定	計		
	国宝	重要文化財					
有形文化財	建造物	1	9	14	25	49	
	美術工芸品	絵画	1	2	10	33	46
		彫刻	-	8	8	18	34
		工芸品	1	2	7	22	32
		書跡・典籍、古文書	-	-	16	10	26
		考古資料	-	-	3	3	6
	歴史資料	-	1	7	6	14	
小 計	3	22	65	117	207		
無形文化財	-	-	-	-	-		
民俗文化財	有形民俗文化財	-	-	5	5		
	無形民俗文化財	-	-	3	4	7	
	小 計	-	-	3	9	12	
記念物	史跡	2	4	12	18		
	名勝	2	3	1	6		
	天然記念物	-	7	16	23		
	小 計	4	14	29	47		
合 計	3	26	82	155	266		
選定文化財件数	重要伝統的建造物群保存地区				1		
登録文化財件数	登録有形文化財(建造物)	建築物	35	工作物	5	40	
	登録有形民俗文化財	生産、生業に用いられるもの			1		
選択文化財件数	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財				2		



## 甲州市役所

〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾1085番地1

[電話]0553-32-2111(代) [ウェブサイト] <https://www.city.koshu.yamanashi.jp>

発行/甲州市 発行年/令和7年